

(様式3) 新規評価基準

事業名		街路事業	箇所名	
区分	評価項目	評価区分	得点	備考
必要性	交通結節点アクセス	A インターチェンジ若しくは駅等への1次アクセス	15	
		B インターチェンジ若しくは駅等への2次アクセス	9	
		C 該当なし	0	
	交通需要 (計画交通量)	A 計画交通量10,000台/日以上	10	
		B 計画交通量4,000~10,000台/日未満	6	
		C 計画交通量4,000台/日未満	0	
	車の通行の確保 (車のすれちがいやすさ)	A 5.5m未満	10	
		B 5.5~6.5m未満	6	
		C 6.5以上	0	
	自転車対策(計画)	A 自転車道若しくは自転車通行帯を設置	10	
		B 自転車歩行者道に指定が可能	6	
		C 該当なし	0	
	歩行者の安全性の向上 (現況歩道幅員)	A 歩道なし	15	
		B 0~2.0m未満	9	
C 2.0m以上		0		
地域の骨格・環状を形成	A 地域の骨格・環状を形成(幅員16m以上)	15		
	B 延焼防止機能(幅員16m未満・植樹帯あり)	9		
中心市街地のにぎわいづくり	A 目抜き通り又は商店街(商業系用途地域)の改良	10		
	B 目抜き通り又は商店街(商業系用途地域)以外の改良	0		
地域の特性	A 特別な観点から整備を進める路線である。	10		
	B 特別な観点から整備を進める路線以外である。	0		
区域区分	A 都市計画区域が線引きされている	5		
	B 上記以外	0		
小計				
重要性	関連計画との整合	A 県中・長期計画等(市町村単位以上)に位置付けがある又は他の計画に関連	80	
		B 中心市街地活性化計画等(市町村単位より狭い)に位置付けがある	48	
		C 該当なし	0	
	特別立法による位置付け	A 緊急輸送路などに位置付けられている	20	
B その他、避難路等に位置付けがある		12		
C 位置付けなし		0		
小計				
効率性	B/C(費用対効果)	A B/C 1.5以上	60	
		B B/C 1.0~1.5未満	36	
		C B/C 1.0未満	0	
	事業効果の早期発現	A 事業年数5年以内	20	
		B 事業年数7年以内	12	
C 事業年数8年以上		0		
コスト縮減	A コスト縮減の検討済み	20		
	B コスト縮減の検討未実施	0		
小計				
緊急性	安全対策 交通事故件数(過去5年)	A 交通事故3件以上	30	
		B 交通事故1~2件	18	
		C 事故なし	0	
	渋滞対策 混雑度	A 主要渋滞箇所混雑度が1.5以上	30	
		B 主要渋滞箇所混雑度が1.0~1.5未満	18	
		C 混雑度1.0未満	0	
通学路対策 通学路の指定	A H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所	40		
	B 通学路指定	24		
	C 該当なし	0		
小計				
計画の熟度	地域からの要望	A 地域住民からの内発的な活動が強い	50	
		B 市町村からの要望がある	30	
		C 特に要望がない	0	
	事業情報の共有	A 関係者以外に広く周知	30	
		B 関係者中心に周知	18	
		C 特に周知していない	0	
	住民参加の状況	A 住民が計画策定に参加	20	
B 住民や市町村の意見を計画策定に反映		12		
C 住民意見は反映していない		0		
小計				

H25.8月に住民説明会を実施。住民反対意見なし。H25年度末に設計内容について第2回住民説明会を実施。